

# PMW-260(S)

## NEW マルチウオーカー

### 組立・取扱説明書

この度は本商品をお買い求め頂き誠にありがとうございました。

- ご使用になられる前にこの取扱説明書を最後までお読みになり、
- 内容を良く理解してから正しくご使用下さい。
- この取扱説明書はご使用になる方が何時でも見れるよう商品付近
- に大切に保管して下さい。ご不明な点が有れば、その都度お読み直
- し頂き正しくご使用下さい。
- ご使用前に必ず各固定部のボルト、ナットや固定ピン等の点検を
- 行い、しっかり固定できているかご確認をお願いします。



### 〈目次〉

安全にお使いいただくために	2
お客様へお願い	3
梱包内容	4
本体の準備	6、7
各部名称	5
各運動のセッティング方法	8、9、10
コンピューターの使用方法	11
8種類の運動方法	12、13、14
トレーニングアドバイス	
▪ (ストレッチ)	15
トレーニングアドバイス	
▪ (トレーニング)	16
折りたたみ方法	17
ベルト片寄り調節方法	19
お手入れ方法	20
破棄方法	20
お客様お問い合わせ番号	20
保証書	20

# 安全にお使いいただくために

本商品は家庭用です。この項目をよくお読みの上、正しくお使いください。  
この「安全にお使いいただくために」をよくお読みの上、正しくお使いください。  
この取扱説明書にない目的・方法ではお使いにならないでください。

## 警告とご注意



### 〈ご使用上のご注意〉

- ⊘ 次のような方はご使用をご遠慮ください。
  - 妊婦や生理中、心臓障害気管支系疾患等、安静が必要な方。
  - 医師の診断で運動を止められている方や発熱や過労などで体調が優れない方。
  - 運動中に体に不調や異常を感じた場合は直ちに使用を中止し医師にご相談ください。
  - 体重が100 kg以上の方。
- ⚠ ご使用時の服装の注意と準備運動の励行でケガの予防。
  - ゴム底の運動靴を履き体が動きやすい服装でご利用下さい。運動前には軽い準備運動を行い運動後は整理体操をそれぞれ5分程度行い体調を整えて下さい。
- ⊘ 次のような方は保護者が付き添ってご使用ください。
  - お年寄り、お子様、体の不自由な方、リハビリ用としてご使用になる場合。  
また、危険防止のためご使用中には小さなお子様が近づかないようにして下さい。

### 〈取扱上の注意〉

- ⚠ ご使用前にご確認下さい。
  - ご使用前に必ず各固定ボルト、ナットや固定ピン等の点検を行い、しっかり固定出来ているかのご確認をお願いします。
- ⊘ 本商品は家庭用です。
  - 本商品は一般家庭用ですので業務用としてやまた、不特定多数の方が使用する目的の場所では使用しないで下さい。
- ⚠ 万一商品が濡れた場合は
  - サビや故障の原因となります。また、滑りやすくなりますので乾いた布などで速やかに拭き取って下さい。

- ⊘ 次の場所には設置・保管をしないで下さい。
  - 斜めに傾いたり滑りやすい恐れのある不安定な場所や振動の多い場所。
  - 油煙や湯気、湿気や埃の多い場所。風通しの悪い場所。
  - 極端に高温や低温になる場所。直射日光の当たる場所や熱器具の近く。
  
- ⊘ 不当な修理・分解・改造をしないで下さい。
  - 不当な修理・分解・改造は破損・故障・ケガの原因となり大変危険です。
  
- ⊘ 異物はいれしないで下さい。
  - メーターや本体の内部に異物を入れしないで下さい。  
異物が入ったまま使用すると故障の原因となります。  
特にお子様のいるご家庭では注意して下さい。
  
- ⊘ 本機から降りる際は急に降りないで下さい。
  - 本機ごと倒れる恐れがございます。ご注意下さい。
  
- ❗ 傷を付けないようにご注意下さい。
  - 廊下やフローリング、畳の部屋で組立やご使用になると床に傷を付ける場合があります。  
必ずカーペットなどを敷き傷を付けないようご注意下さい。

## お客様へお願い

本商品をご家庭で手軽にご使用頂けるように設計されたトレーニング器具です。  
トレーニングジムや多人数でのご使用には不適切です。あらかじめご了承下さい。

■  
荷物の取扱いには十分な注意を致しておりますが、何分にも海外からの輸入品ですので、輸送途中に細かな傷や汚れ等が生じる場合がございます。ご理解ご了承頂きますようお願い致します。

■  
本商品は大量生産をしており、検査のために組み立て傷が生じる場合がございます。ご理解ご了承頂きますようお願い致します。

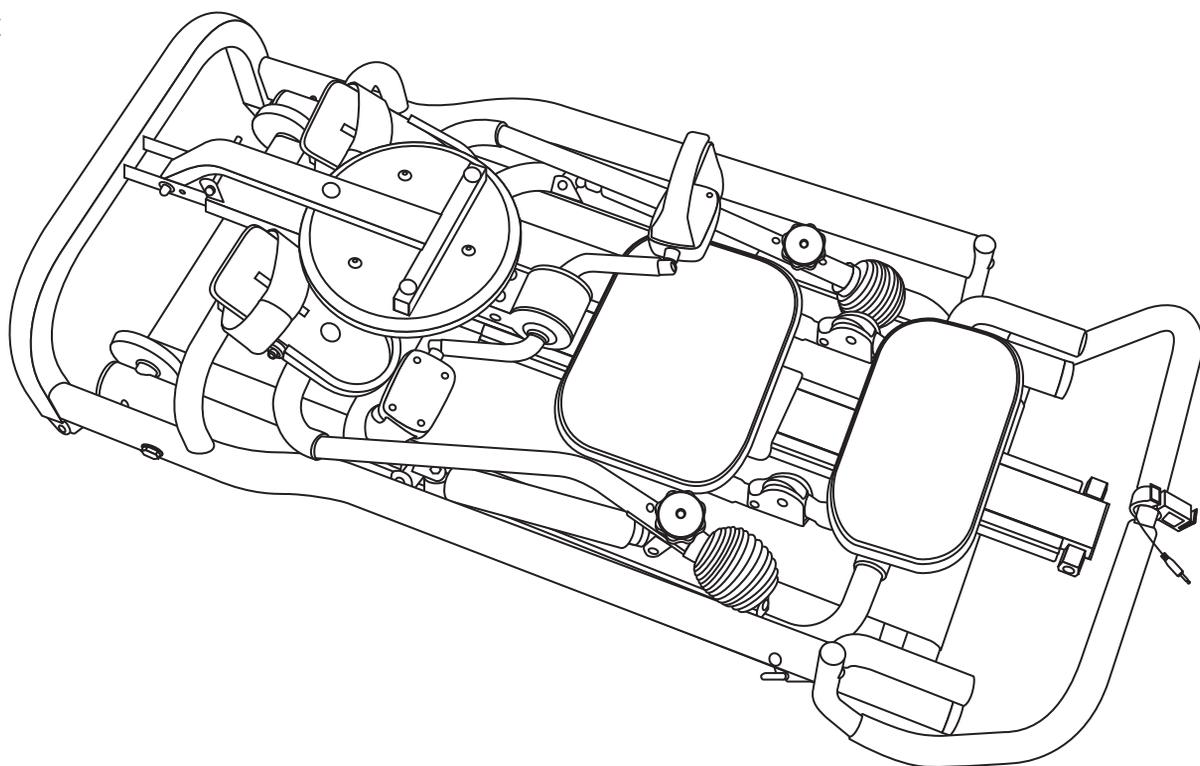
■  
商品の形状は安全向上の為予告なく変更をする場合があります。カタログや説明資料等と一部異なる場合がございますが、あらかじめご了承下さい。

# 梱包内容の確認

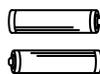
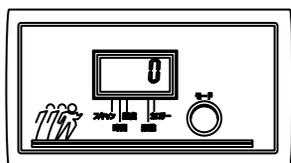
組立の前に梱包内容をご確認ください。万一、不足等ございましたら販売店もしくは当社までご連絡いただきますようお願いいたします。

	部品名	数量
1	本体	1
2	コンピューター（単三型電池2ヶ付属）	1
3	ベルト片寄り調節工具（2種）	1
4	説明書	1

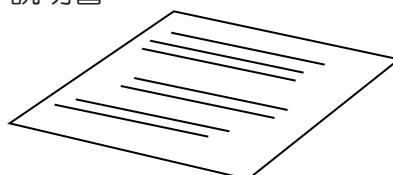
## 1. 本体



## 2. コンピューター（単三型電池付属）



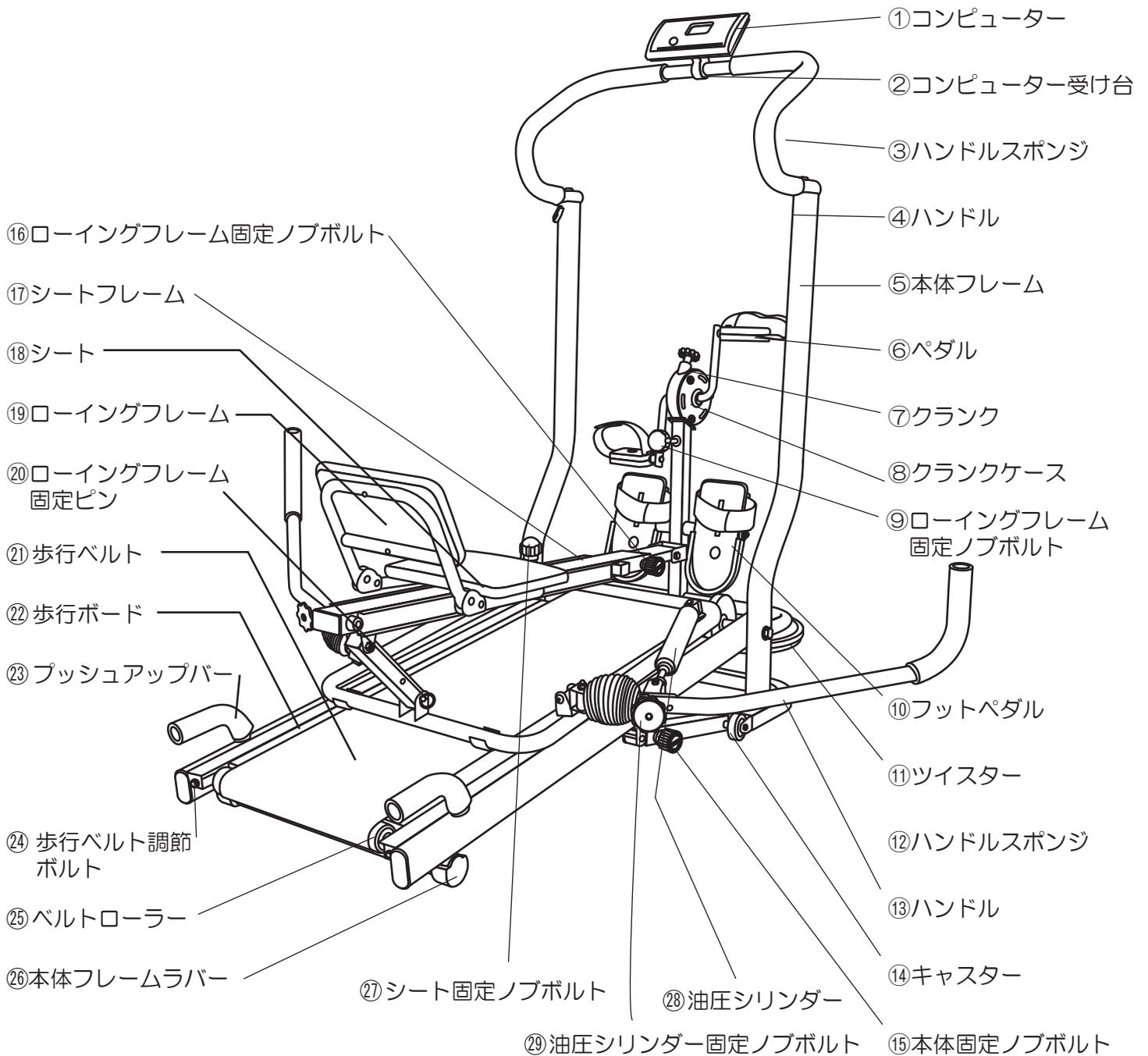
## 4. 説明書



## 3. ベルト片寄り調節工具



# 各部の名称

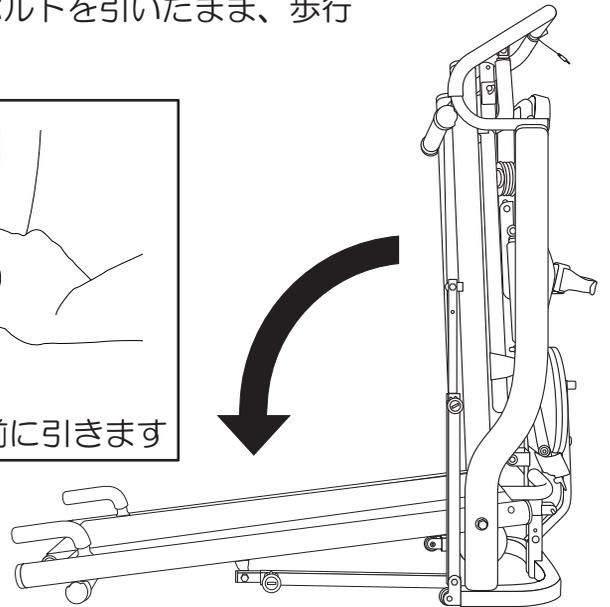
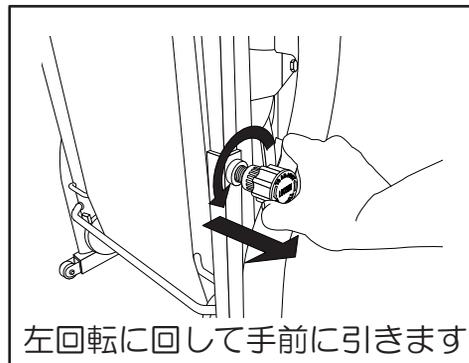
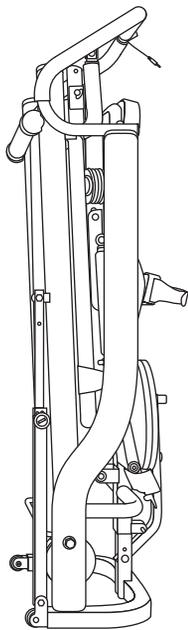


商品サイズ	約幅63×奥行125×高さ139 (cm)
折りたたみサイズ	約幅63×奥行35×高さ139 (cm)
重量	41kg
材質	スチールパイプ・ウレタン・ABS樹脂
耐荷重	100kg
原産国	台湾

# 本体の準備

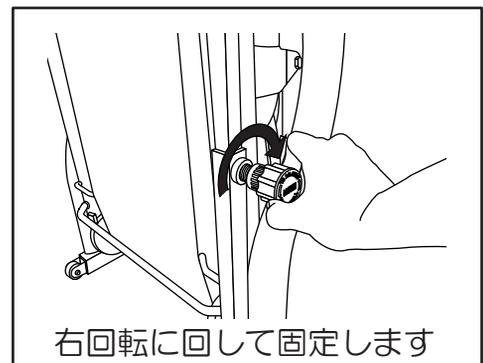
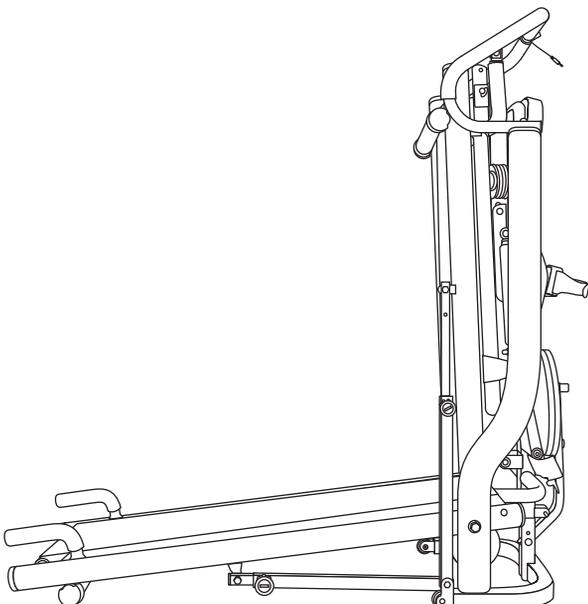
- 本商品は大きく、重量も有りますので運搬、組立は2人で行われることをお勧めいたします。
- 床面や周りにキズ等を付けないように取扱時や設置使用時にはご注意ください。特に床面には保護マットなどの上で組立、ご使用をお願いいたします。
- 組立の際は手袋等で手を保護してください。

1. 本体を図のように立て、本体歩行台に手を添えて、歩行台固定ノブボルトを左回転に回して手前に引きます。歩行台固定ノブボルトを引いたまま、歩行台を手前におろしてください。

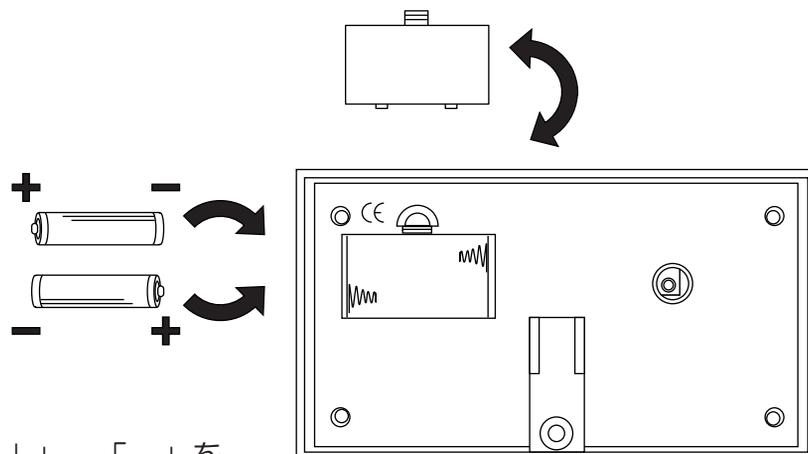


(注) 走行台固定ノブボルトをはずす時は必ず走行台に手を添えてください。走行台が倒れるおそれがございます。

2. 歩行台をおろしたあと、本体を固定するために、「カチッ」いう音がするまで矢印の方向へ引いてください。本体固定ノブボルトを右方向へ回して固定してください。

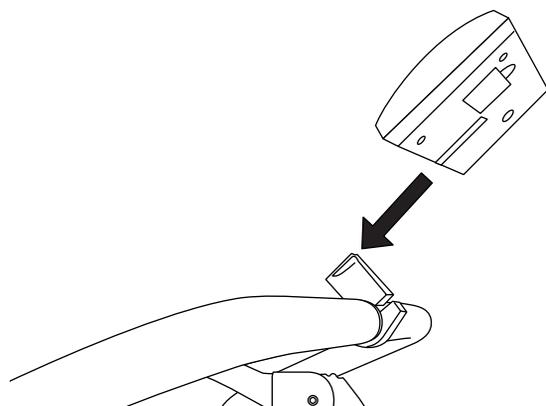


3. コンピューター裏面の電池ボックスのふたを外し、付属の単三型電池を「+」、「-」の方向に注意して入れてください。ふたをもとのようにもどします。

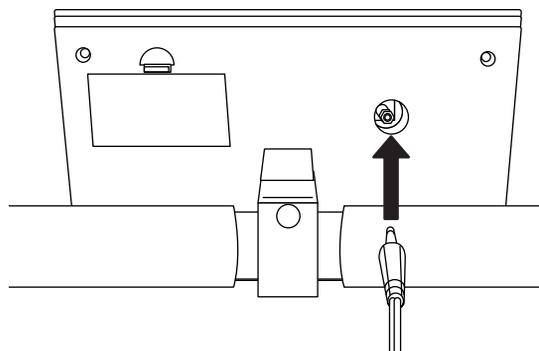


(注) 乾電池は「+」、「-」を間違えないようにご注意ください。

4. ハンドルにあらかじめ取付られているコンピューター受け台にメーターを差し込み、メーター裏のジャックにセンサーコードを差し込みます。



(注) コンピューター受け台の角度が悪かったり、緩い場合は付属の工具で調節してください。



(注) センサーコードは「カチッ」というまで確実に差し込んでください。

これで組立は完了です。最後に各部ノブボルト等が確実に固定されているかご確認下さい。

運動内容によって、本体のセッティングが違いますので「各運動のセッティング方法」で運動内容に合わせてセットしてください。

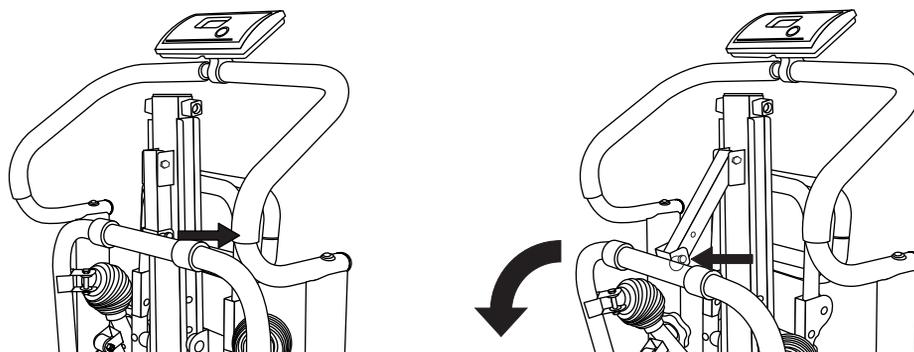
# 各運動のセッティング方法

## セッティング① 歩行運動・ジョギング運動・腕立て運動

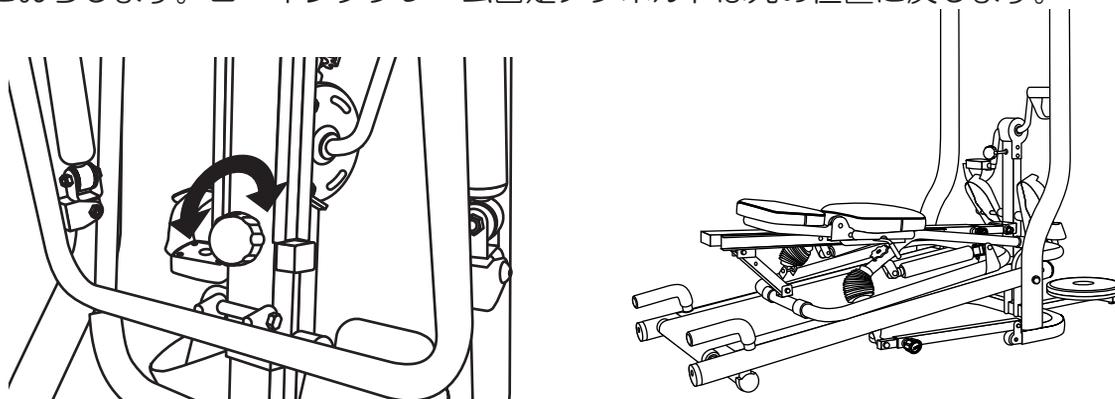
本体の準備で完成した状態です。

## セッティング② ローイング運動・ペダリング運動 アームペダリング運動・ツイスト運動

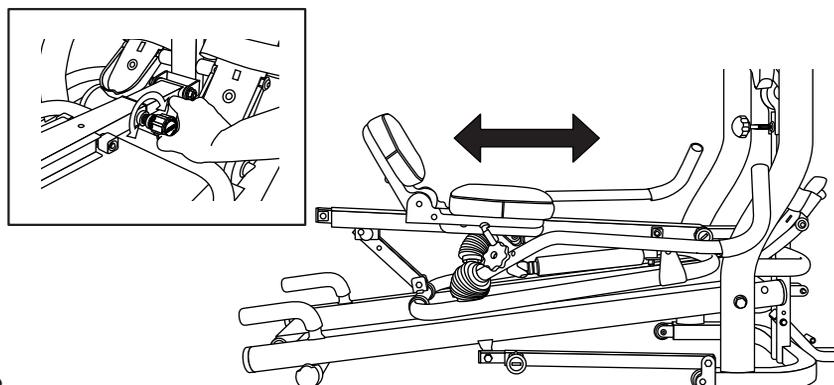
①ローイングフレームに手を添え、ローイングフレーム固定ピンを抜きます。ローイングフレームを前に引き出し、図のように再度ローイングフレーム固定ピンで固定してください。



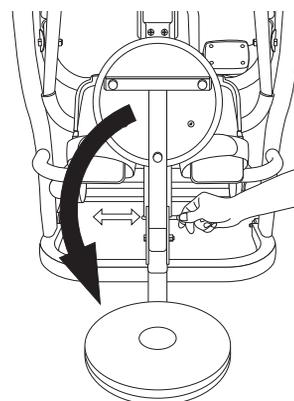
②ローイングフレーム固定ノブボルトを左回転に回して外し、ローイングフレームを歩行台の上におろします。ローイングフレーム固定ノブボルトは元の位置に戻します。



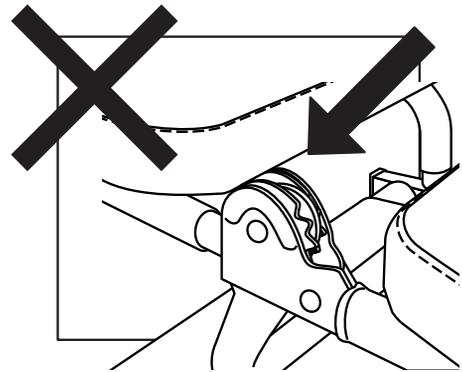
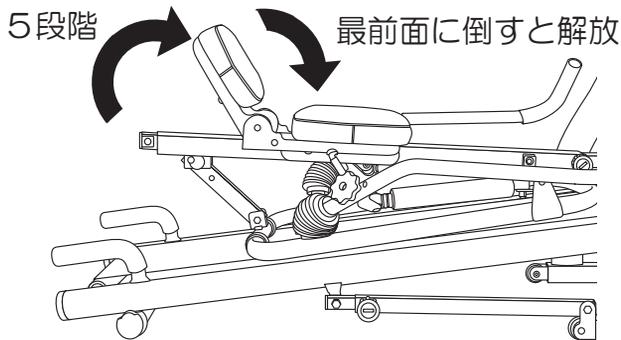
③シートフレーム固定ノブボルトを左回転に回し引っ張りながらシートフレームを前後に移動させて調節します。調節後、シートフレーム調節ノブボルトを右回しに固定します。



④ツイスター固定ピンを抜いてツイスターを手前に引き出します。ツイスター固定ピンは元の位置に戻します。

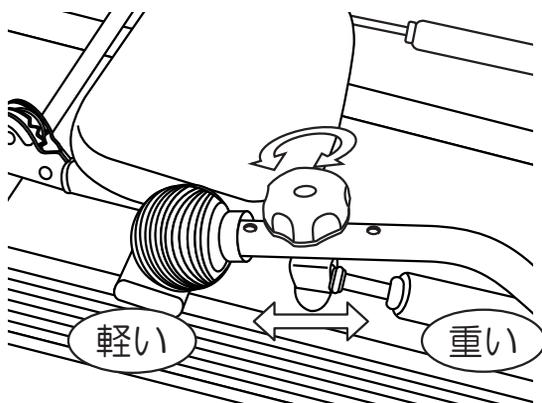


④背もたれシートを最前方まで倒して最後方へ戻します。角度を付ける場合は1段ずつ起こしていきま。背もたれシートは5段階（フラット状態含む）に調節できます。



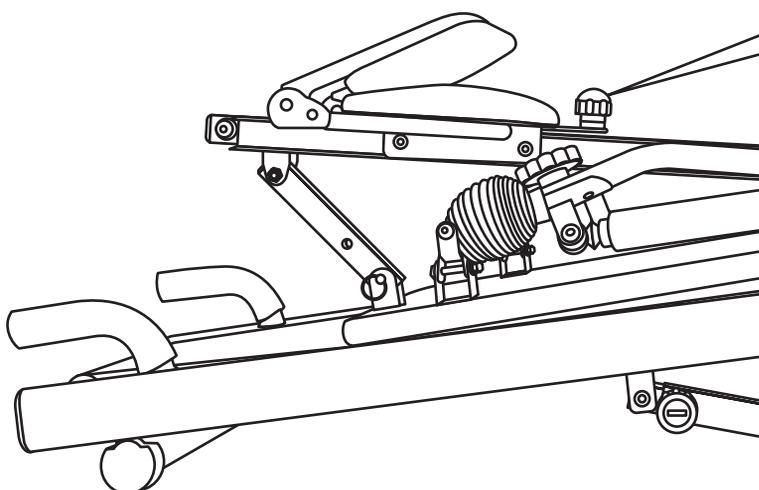
(注) シートのギア部に指等を挟まないようご注意ください

⑤ローイング調節ノブボルトを左に回して取り外し、前後に差し替えて調節します。重さは3段階に調節できます。

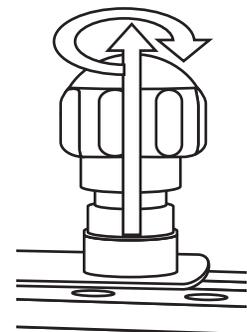


(注) ローイングの負荷は左右同じ位置でご使用下さい。また、ローイング調節ノブボルトは完全に固定してください。

⑥ローイング運動時にはシート固定ノブボルト上に引き上げ、半回転左に回します。これで可動状態になります。

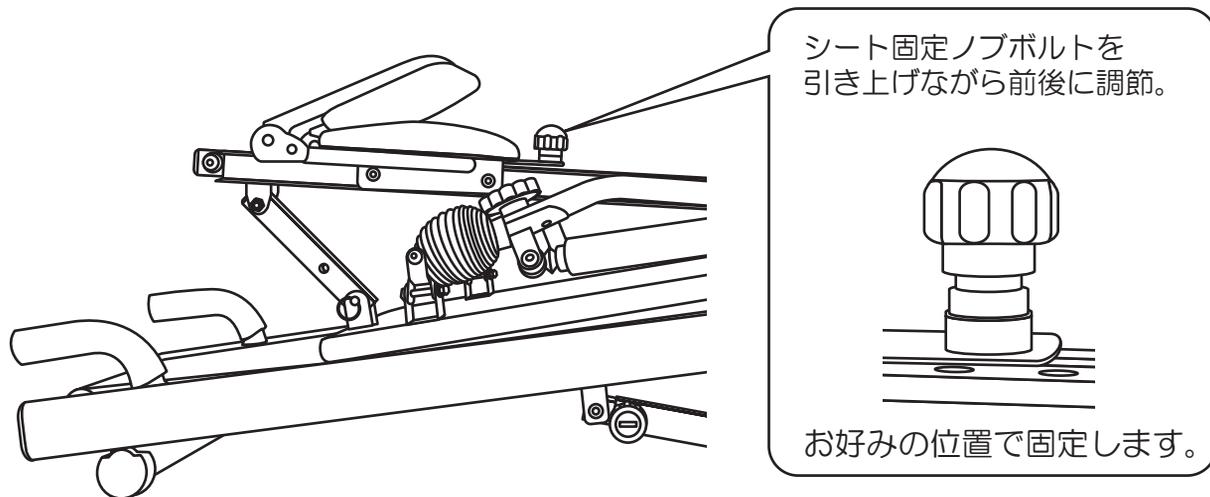


シート固定ノブボルトを  
①引き上げ  
②半々回転左に回す。

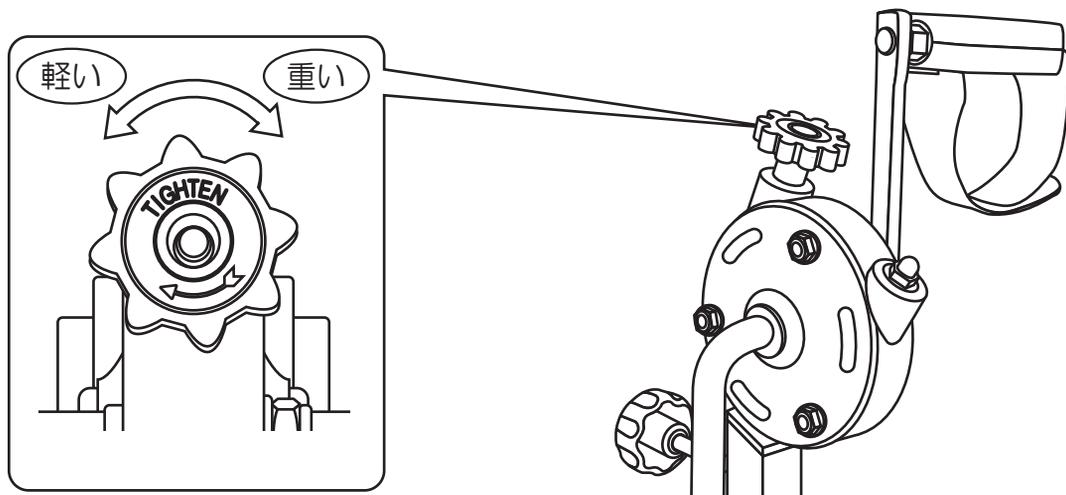


## セッティング③ ペダリング運動

セッティング②の状態からシートを固定した状態にセットします。  
シート固定ノブボルトを引き上げながら、シートを移動させ、シート固定ノブボルトから手を離し前後させますとシートが固定されます。  
シートは前後に4段階の調節が可能です。体格に合わせて調節してください。



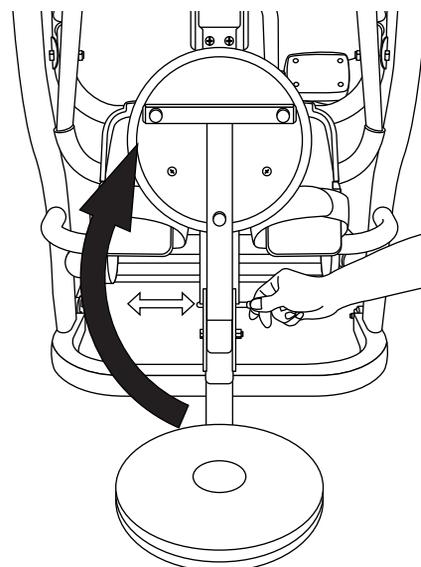
ペダルの負荷はペダル負荷調節ノブを左右に回して負荷の調節を行います。



## セッティング④ 腹筋運動・背筋運動

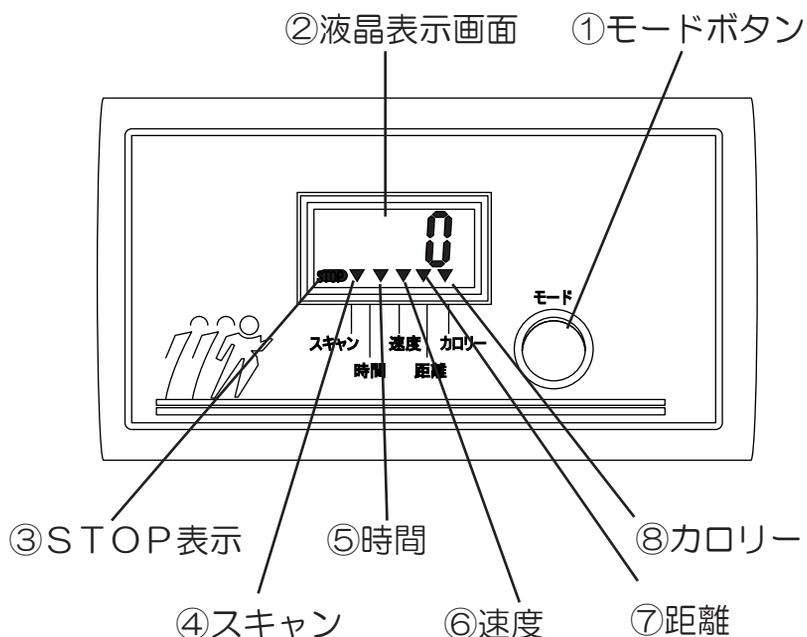
セッティング②の状態からツイスターを収納状態にします。  
ツイスター固定ピンを抜いてツイスターを手前に引き出します。ツイスター固定ピンは元の位置に戻します

(注) 本体フレームに足を掛けて使用しますので必ず、ローイングフレームを歩行台におろした状態で運動をしてください。



# メーター使用説明

1. モードボタンを押してコンピューターの表示を点灯させます。また、運動を開始すると自動的に表示が点灯します。
2. モードボタンを押すごとに、表示が下記のように切り替わります。スキャン表示に▼が点灯している場合は約5秒間隔で表示が順送りされます。
3. 運動の各表示をリセットしたい場合はモードボタンを5秒以上押し続けてください。



## 各機能と表示

- ①モードボタン：押すごとにスキャン→タイマー→スピード→距離→カロリーの選択ができます。また、3秒以上押し続けると現在の数値がリセットされます。

— スキャン→時間→速度→距離→カロリー —

- ②液晶表示：各項目を表示します
- ③STOP表示：運動をしていない停止状態の時、点灯します。
- ④スキャン：「SCAN」が表示されていると時間、速度、距離、カロリーが4秒間隔で交互に表示されます。時間、速度、距離、カロリーのいずれかを表示させたい場合はモードボタンを押して「SCAN」を消してください。
- ⑤時間：運動時間を0：00～99：59まで表示します。
- ⑥速度：運動速度を0.00km/h～99.9km/hまで表示します。
- ⑦距離：運動の距離を0.1km～999.9kmまで表示します。
- ⑧カロリー：運動のカロリーを0.1kcal～999.9kcalまで表示します。  
※このコンピューターのカロリー表示の数値はあくまでも運動の目安です。

## ご注意

付属の電池は工場出荷時のモニター電池で通常より寿命が短くなっております。液晶表示が薄くなってきたり消えた場合は新しい電池と交換してください。また、長時間ご使用されない場合は電池を外して保管してください。

# 8種類の運動方法

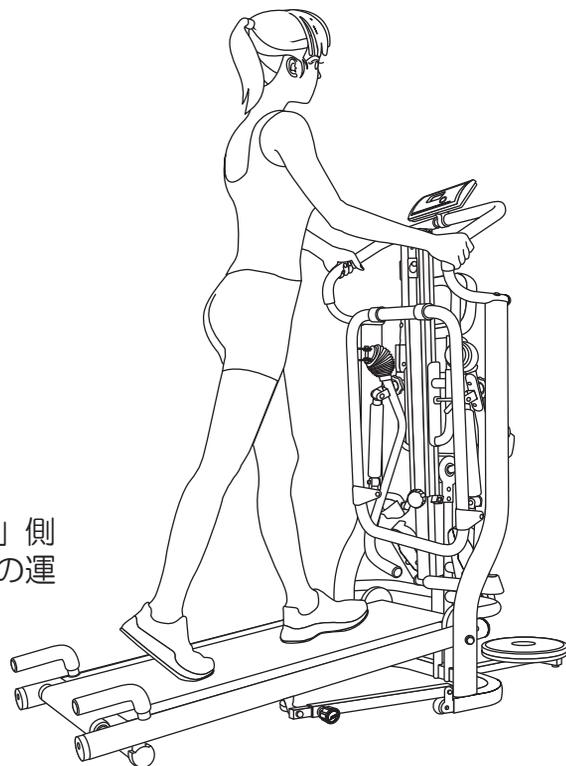
## 1. 歩行・ジョギング運動

・ 8ページ「各運動のセッティング方法」を参照にしてセッティング①にセットします。

- ハンドルをしっかり握り、歩行ベルトの上に片足ずつ乗ってください。
- 歩行ベルトを足で交互に後ろに蹴るように歩行します。歩行ベルトが回り始めると慣性がつきスムーズに回転しますので、ジョギングも可能です。

(注) 運動中はハンドルをしっかり握ってご使用下さい。

(注) 歩行運動およびジョギング運動は「コンピューター」側に向く姿勢で行ってください。後ろ向き、横向きでの運動は大変危険ですのでおやめ下さい。



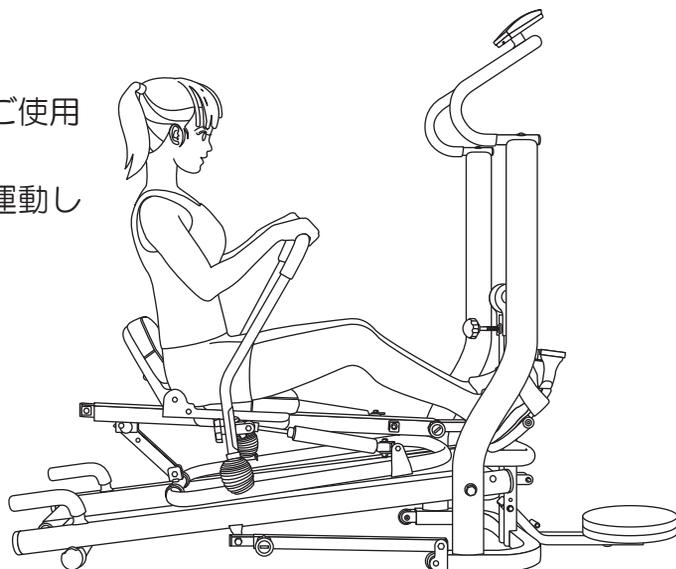
## 2. ローイング運動

・ 8、9ページ「各運動のセッティング方法」を参照にしてセッティング②にセットします。シート、ローイングの負荷を調節してください。

- フットペダルに足をかけて背筋と腕の筋肉をに力が入ってるのを意識してローイングアームのグリップをしっかり握り手前に引き寄せてください。

(注) 運動中はアームハンドルをしっかり握ってご使用下さい。

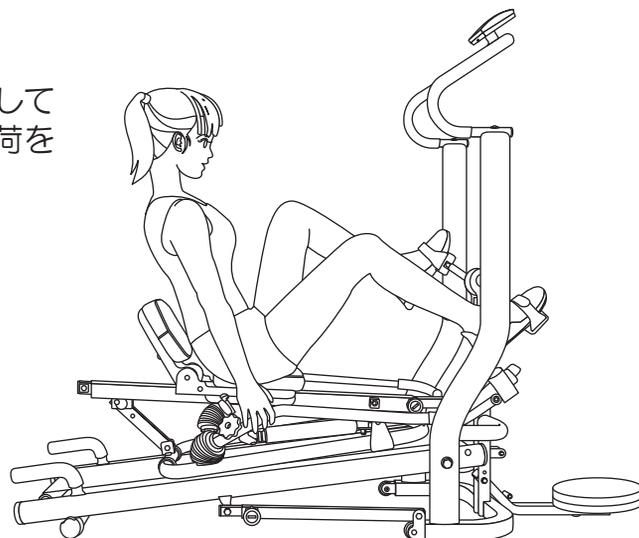
(注) ローイングアームの負荷は左右同じ負荷で運動してください



### 3. ペダリング運動

・10ページ「各運動のセッティング方法」を参照にしてセッティング③にセットします。ペダルベルトと負荷を調節してください。

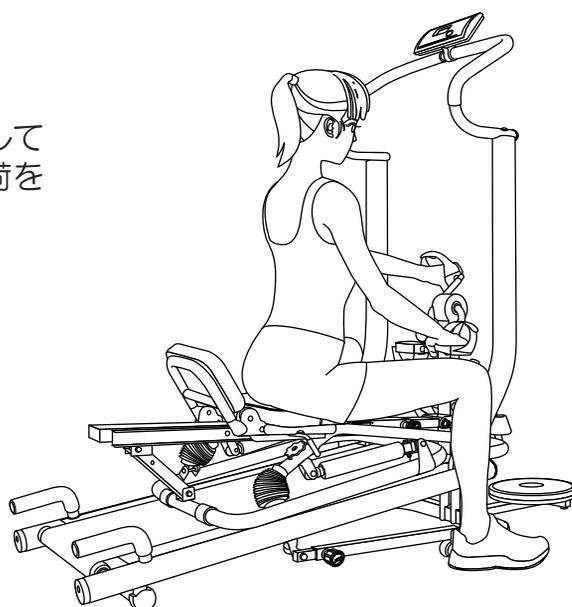
- シートに座りペダルに足をかけ、背筋を伸ばしてバランスを保ちながらリズムカルにペダルを回転させます。負荷はいきなり重くせず、軽い負荷で回転させます。
- シートは必ず固定した状態でペダリング運動を行ってください。



### 4. アームペダリング運動

・10ページ「各運動のセッティング方法」を参照にしてセッティング③にセットします。ペダルベルトと負荷を調節してください。

- シートに座り手でペダルを握り、背筋を伸ばしてバランスを保ちながらリズムカルにペダルを回転させます。負荷はいきなり重くせず、軽い負荷で回転させます。
- シートは必ず固定した状態でペダリング運動を行ってください。

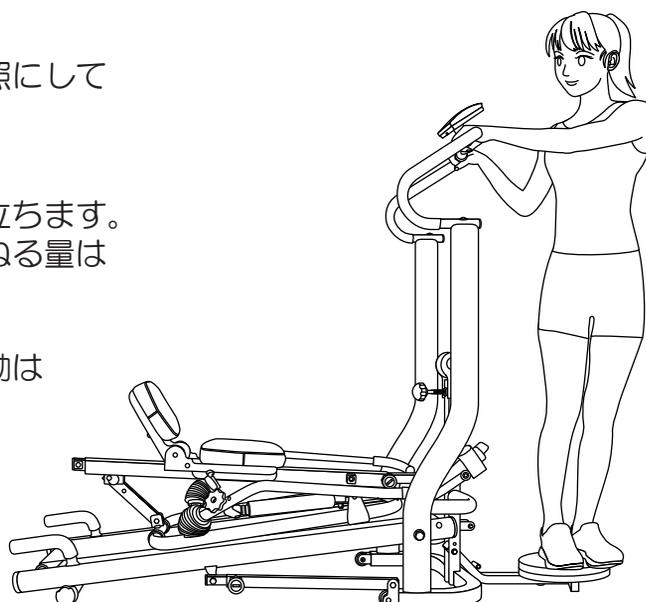


### 5. ツイスト運動

・10ページ「各運動のセッティング方法」を参照にしてセッティング③にセットします。

- ハンドルをしっかり握り、ツイスト盤の中央に立ちます。バランスを保ちながら下半身をひねります。ひねる量は体の柔軟度に応じて徐々に大きくします。

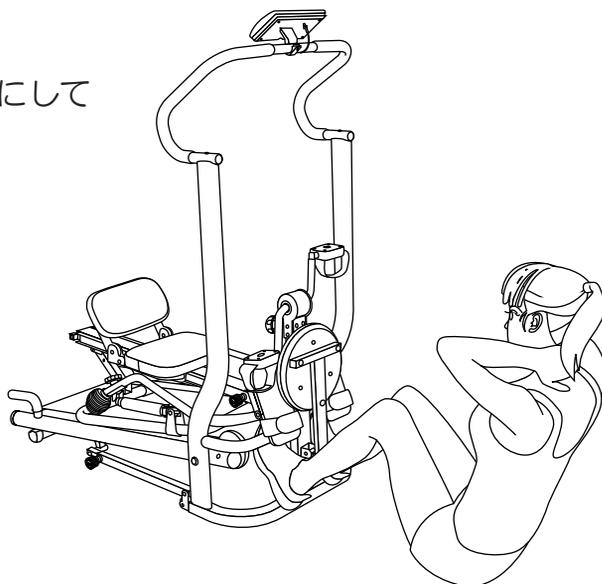
(注) ツイスト盤の上で飛んだり、また無理な運動はしないようお願いいたします。



## 6. 腹筋運動

・ 8, 9ページ「各運動のセッティング方法」を参照にしてセッティング②にセットします。

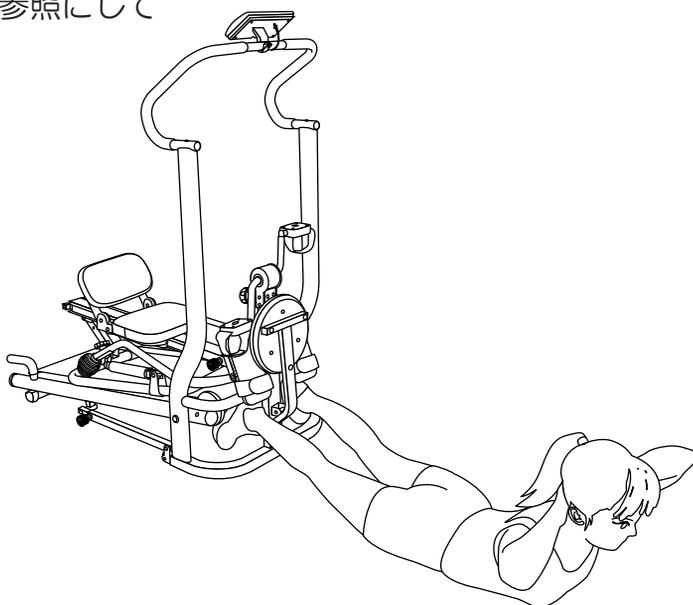
- 足の甲を本体フットバーに掛け、膝を軽く曲げ反動を使わずに腹筋の力で上体を起こしたり、寝かしたりします。無理をせず、徐々に回数を増やしましょう。腹筋に意識を集中する事が重要です。



## 7. 背筋運動

・ 8, 9ページ「各運動のセッティング方法」を参照にしてセッティング②にセットします。

- 本体フットバーに足をかけます。背筋の力で上体を起こしたり、寝かしたりします。反動を使わず、ゆっくり運動を行うようにしましょう。
- 足の大きい方は足の裏をフットバーにかけてご使用下さい。

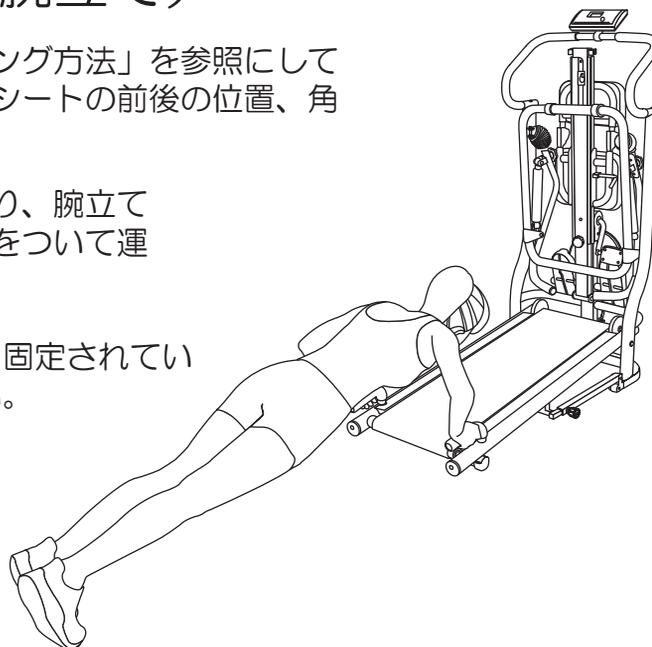


## 8. プッシュアップ (腕立て)

・ 8, 9ページ「各運動のセッティング方法」を参照にしてセッティング①にセットします。シートの前後の位置、角度を調整します。

- プッシュアップバーをしっかりと握り、腕立て運動をします。筋力の弱い方は膝をついて運動をします。

(注) ローイングフレームがしっかり固定されているか確認して運動してください。



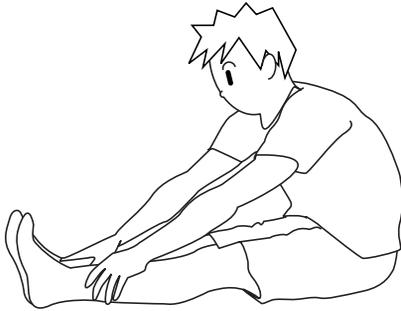
# トレーニングアドバイス（ストレッチ）

運動の前後に軽いストレッチを取り入れましょう。ストレッチはケガの防止や運動後に疲労を残さない効果があると言われています。

各ストレッチを15秒から20秒。息を吐きながら反動をあまりつけずにゆっくりと行うようにしましょう。

## ぜんくつ（太股うらのストレッチ）

床に座り足をのばして体をゆっくりと前に倒します。



## 体側のばし（体側のストレッチ）

▪ 頭の後ろで腕を組み、片方の肘を反対の手で引きます。脇の裏をしっかりとのばす感じで行います。左右行います。



## 股わり（股関節のストレッチ）

足の裏を合わせあぐらに座り股関節を伸ばします。



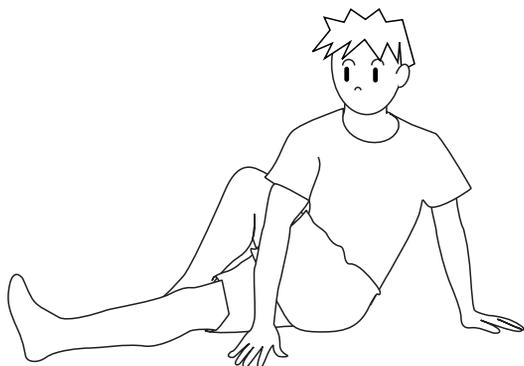
## 首のぜんくつ（首のストレッチ）

▪ 頭に手を添えて、左右と前にゆっくりと倒します。



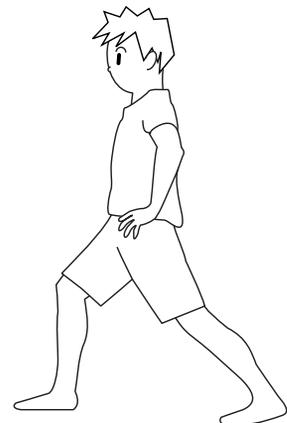
## 腰をねじる（腰のストレッチ）

▪ 床に座り片足を伸ばし、反対の足をかけて体をかけた足の方へひねります。左右行います。



## ふらはぎをのばす（ふくらはぎのストレッチ）

▪ 立った状態で足を前後に開き、後ろ足のかかとを浮かさないように体を前に移動させふくらはぎを伸ばします。左右行います。

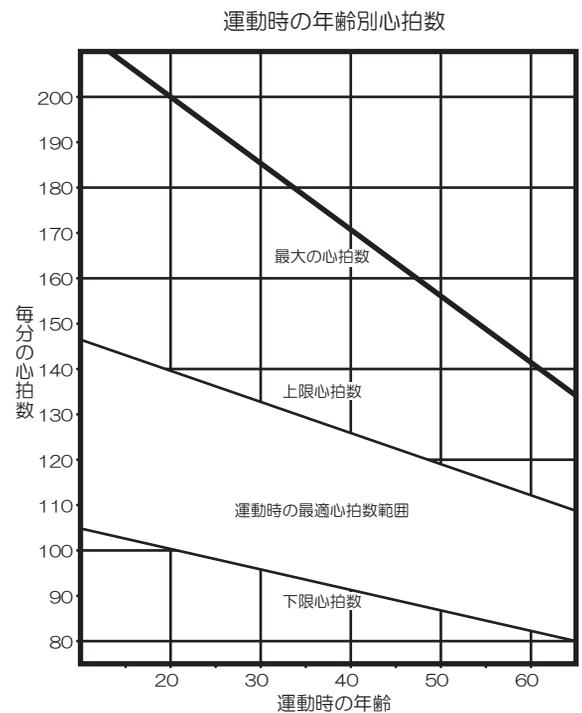


# トレーニングアドバイス（トレーニング）

## 運動の心拍数

健康づくりのためには、運動強度が強ければいい、運動時間が長ければいいというものではありません。過度の運動はかえって健康を害することがあるので注意が必要です。

では、運動の強度はどのくらいがいいのでしょうか？運動強度は運動中の心拍数で220から年齢を引き、その50%から70%での範囲で運動することがよいとされています。また、今まで運動をされてきた方は上限心拍数からプラス10、運動をしばらくしてないが健康である方はプラスマイナス0、この1年風邪をよくひいたりケガをよくする方はマイナス5、病気をしていたり、投薬を受けていたり、治ったばかりの方はマイナス10というふうに体の状態にあわせて設定する心拍数を決定しましょう。しかし、運動の強度は個人によってちがうものです。自分の感覚、感じ方を頼りにするのが良いとされています。「楽だな」「ちょっと楽だ」という感覚程度の運動が自分にあった運動だと考えましょう。



## 運動の量

運動の量としては、1回10分以上継続した運動を1日20分以上が望ましいとされています。また頻度は原則的に毎日行うことが望ましいとされていますが、1週間に4日以上でかまいません。運動は無理のないように長く継続させていくことが大切です。

## 運動の進め方

運動はいきなりはじめず、まず準備運動（ストレッチ・P.15参照）を行いすぐに目標心拍数で行わず、最初の3分～5分はゆっくりと運動し、そして目標のペースの範囲で行います。また、運動の終わりは急激に停止せず、最後の3分から5分をかけて徐々に速度（心拍数）を落としていきます。また、運動後には整理運動（ストレッチ・P.15参照）を行うよう心がけてください。

## 運動を効果的に

毎日の運動を効果的にするために、基礎代謝を高める働きがある軽い筋力トレーニングを取り入れることをおすすめします。筋力トレーニングは日常生活においてあまり使われていない筋肉を鍛えます。しかし、鍛えるといっても全力ですする必要はありません。腕立て伏せ、腹筋、腕屈伸（ダンベルなど）を毎回、運動後に20回ずつ取り入れましょう。しかし、筋肉痛になったり苦痛を感じる場合は回数を減らすようにしましょう。

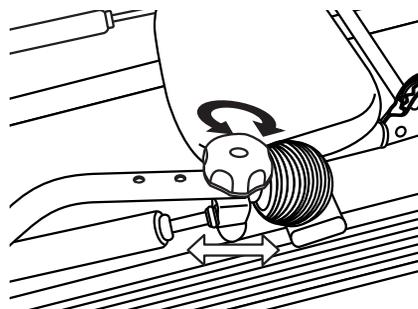
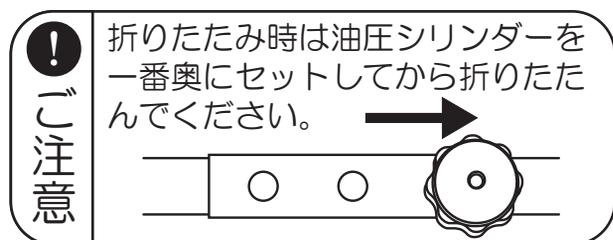
※運動中急激に心拍数が上がったたり、息苦しさを感じた場合。  
体の各所に痛みを感じた場合は すみやかに運動を中止し、  
場合によっては医師の診断を受けて下さい。

# 収納方法

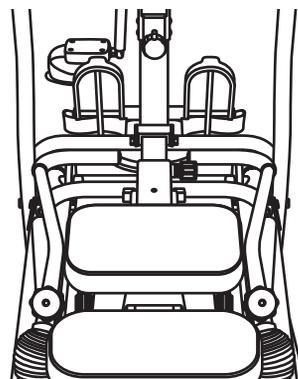
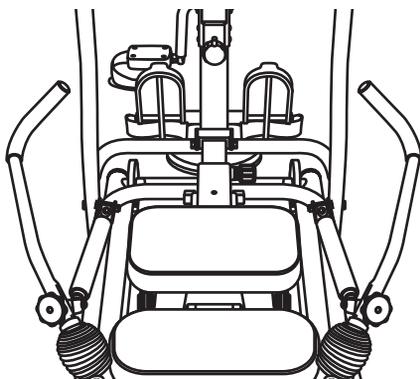
収納は、組立て・各運動のセッティングの逆の順序で行いますが、本体各部の注意ステッカーおよび、下記の内容に従って行ってください。

セッティング①以外の場合は1. から収納を始めて下さい。セッティング①の場合は6. から開始して下さい。

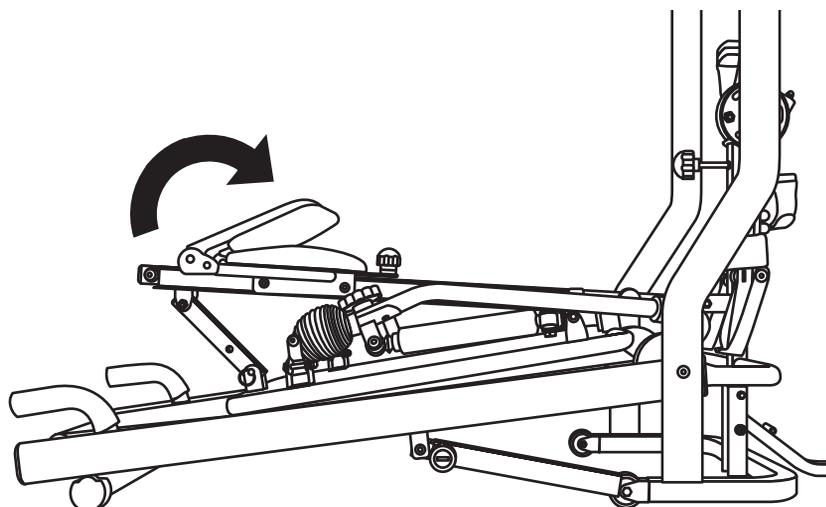
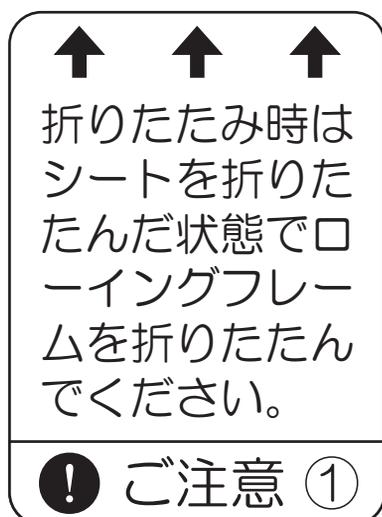
1. 注意ステッカーに従い、ローイング調節ノブボルトを左に回して取り外し油圧シリンダーを「一番軽い位置（運動方向に向かって一番手前に）」調節してください。



2. 図のようにハンドルを本体内部に収納して下さい。



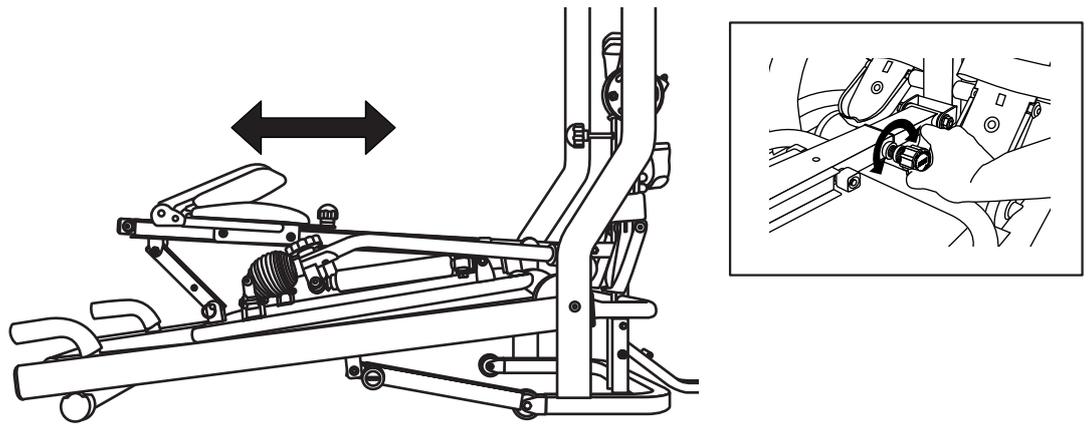
3. シートを折りたたんだ状態に戻してください。  
※詳しいシートの調節方法は9ページを参考にしてください。



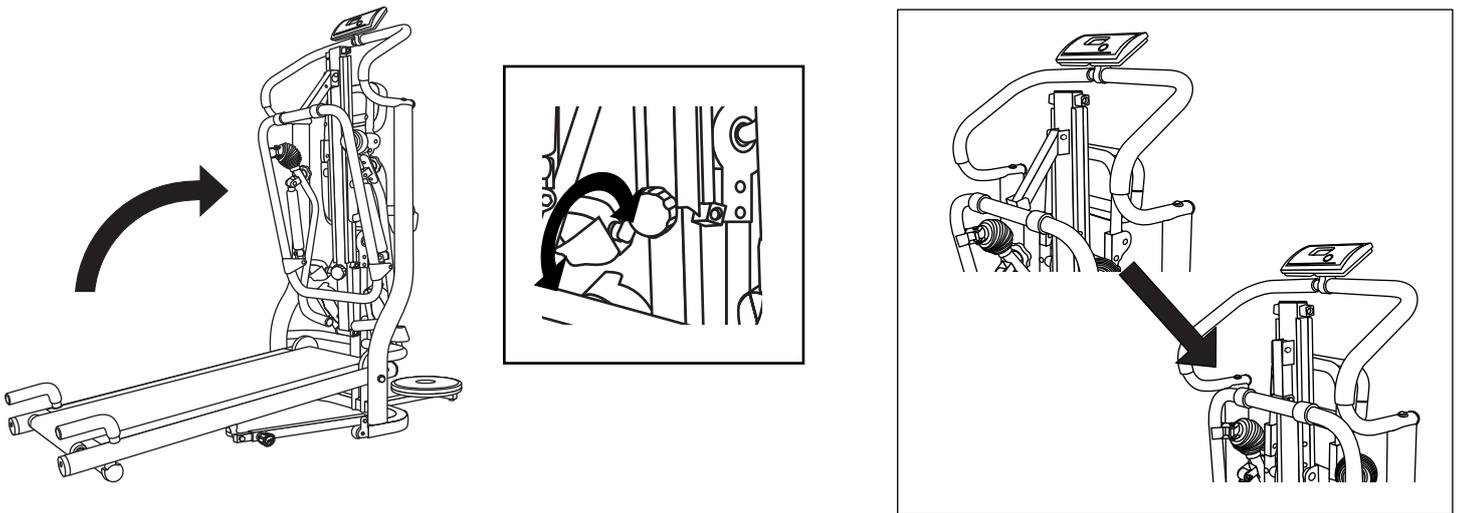
4. ローイングフレームを「注意ステッカー②」の位置に調節します。  
ローイングフレーム固定ノブボルトを左に回し、引っ張りながらローイングフレームを前後に調節します。※詳しい調節の方法は8ページを参考にしてください。

↑ ↑ ↑  
折りたたみ時は  
ローイングフレ  
ームをこの位置  
まで戻してから  
折りたたんでく  
ださい。

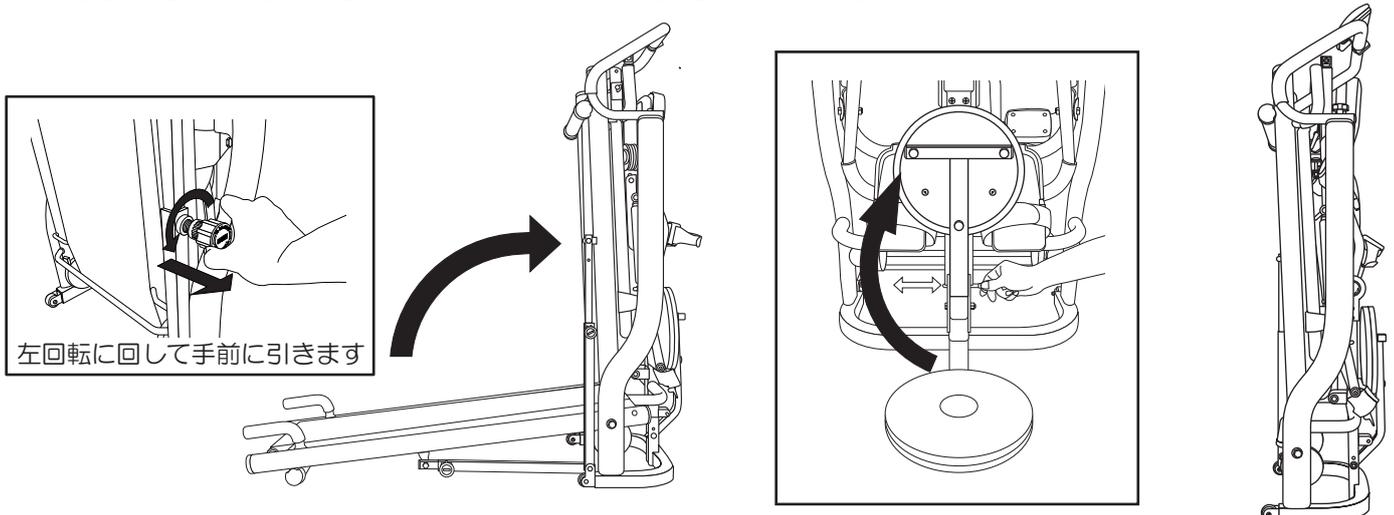
❗ ご注意 ②



5. 準備したローイングフレームを図のように本体フレーム側に持ち上げ、ローイングフレーム固定ノブボルトで固定して下さい。その後ローイングを平らになるようにローイングフレーム固定ピンで収納します。※詳しい調節方法は8ページを参考にして下さい。



6. 歩行台固定ノブボルトを左回転に回し、引っ張りながら歩行台を本体フレーム側に起こします。起こした後、歩行台固定ノブボルトを右回転に回して固定します。  
ツイスターを使用している場合は図のように本体側に起こして、ツイスター固定ピンで固定します。※詳しい調節方法は6、7ページを参考にして下さい。

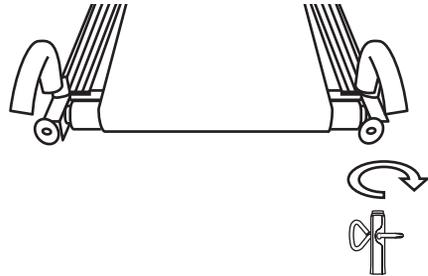


# ベルト片寄り調節方法

本商品は工場出荷時に歩行ベルトの調節済みですが運送途上、使用時に片寄りが生じる場合がございます。またご使用になられる方の利き足によっても片寄りが生じる場合がございますので下記の要領で調節してください。

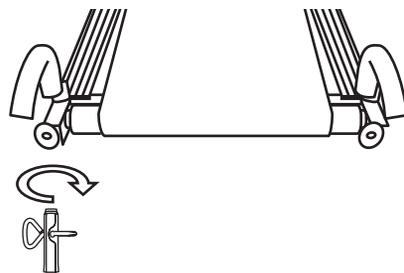
## ベルトが右に片寄る場合

歩行ベルトを手で回転させながら右側のベルト調節ネジを時計回しに回します。ベルトが中央によった時点で回すのをやめ、しばらく回転させ、中央に調節できたか確認します。



## ベルトが左に片寄る場合

歩行ベルトを手で回転させながら左側のベルト調節ネジを時計回しに回します。ベルトが中央によった時点で回すのをやめ、しばらく回転させ、中央に調節できたか確認します。

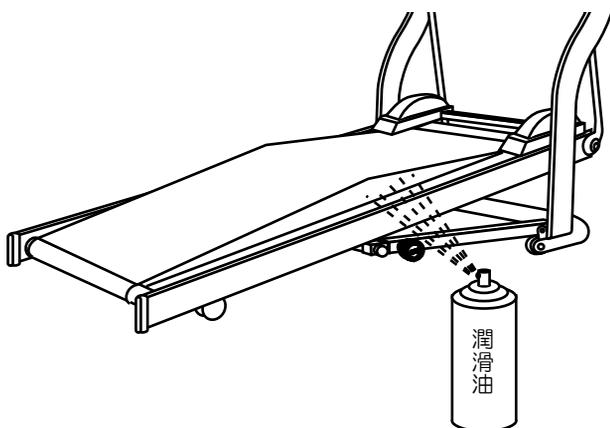


## ベルト調節の際のご注意

- ※ベルトの調節は比較的ゆっくりの速度で行ってください。
- ※調節は1度に調節ボルトを回しすぎず徐々に回してください。
- ※調節で歩行ベルトを張りすぎた場合には左右同じだけ反時計回しに調節ボルトをゆるめます。ゆるめすぎると調節ボルトがはずれたり、ベルトの空回りになりますのでご注意ください。

# 歩行ベルトの滑りが悪い場合は

歩行ベルトの滑りが悪い場合や重く感じられる場合は、市販の「シリコンスプレー」等の潤滑油を歩行ベルトと歩行面の間に吹き付けてください。また、滑りが悪くない場合でも1ヶ月に1度、吹き付けていただくと歩行ベルトの寿命も延び、長くご愛用いただくことができます。



(注意) 潤滑油を吹き付ける際、歩行ベルトには吹き付けないようご注意ください。万一付いてしまった場合には、石鹼水等で湿らせた布等で拭いてから、ご使用下さいますようお願いいたします。

# お手入れ方法

製品が汚れた場合、湿らせた布を固く絞って拭いた後、乾いた布で乾拭きしてください。  
汚れがひどい場合は薄い石鹼水等で拭いた後、乾いた布で乾拭きしてください。

※シンナー、ベンジンなどで拭くと変色したり故障の原因になりますのでご注意ください。

# 廃棄方法

本商品を廃棄する場合は、粗大ゴミとして各地方自治体の決められた日時、場所に従って  
廃棄してください。

# お客様お問い合わせ番号

お客様がお問い合わせの際にお聞きしますので、下記にお買い求め日、お買い求め先をご記入下さい

商品名：NEWマルチウォーカー  
品番：PMW-260(S)  
お買い求め日： 年 月 日  
お買い求め先：

お客様お問い合わせ番号

0745-43-1668

受付時間：平日午前10時～午後4時

## 保証書

(ご注意) お客様の購入日を確認するために購入時のレシート、購入明細、運送便控え等を同時に  
保管ください。確認出来ない場合は保証期間内であっても保証外になる事がございます。

品番		保証期間		
PMW-260(S)		お買い上げ日から1年		
お買い上げ日	年	月	日	
お客様	お名前	販売店		住所・氏名
	ご住所			
	電話			

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。  
お買い上げの日から左記期間中、故障が発生した場合は本書をご呈示  
の上、お買い上げ販売店に修理をご依頼下さい。

### 無料修理規定

- 取扱説明書、本体ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した  
場合には、お買い上げ販売店（修理申込先）が無料修理致します
- 保証期間中に故障して無料修理を受ける場合は、商品と本書をご持参ご  
提示の上お買い上げの販売店（修理申込先）に依頼してください。
- ご購入の場合は事前にお買い上げ販売店にご相談下さい。
- ご購入時等で本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理がご依頼で  
きない場合は、下記にご連絡下さい。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。  
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷  
(ロ) お買い上げ後取付場所の移動、落下等による故障および損傷  
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧による  
故障及び損傷  
(ニ) 一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車輻、船舶への搭載）  
に使用された場合の故障と損傷  
(ホ) 本書の呈示がない場合  
(ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店の記入がない場合、或いは  
字句を書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。  
※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束  
するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場  
合はお買い上げの販売店にお問い合わせ下さい。

株式会社 日章貿易

奈良県磯城郡三宅町屏風17-73 TEL0745-43-1668